

龍ヶ崎市人口ビジョン（案）及び
龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

パブリックコメントによる意見募集の結果について

平成27年12月

龍ヶ崎市総合政策部企画課

提出された意見とその意見に対する市の考え方

意見提出期間	平成27年10月20日（火）～平成27年11月19日（木）		
意見提出者数	2名	意見件数	13件

意見は、原則原文掲載としていますが、個人が特定されるおそれのある内容などは掲載しておりません。

No	意見No	意見及び内容	市の考え方
1	1	龍ヶ崎市と言えは “子育てしやすい場所”とみんなが思える市になること これから子育てをしようとするカップルに選ばれる場所となって龍ヶ崎市に住んでることを誇らしく思い子育てを楽しくする 友達の話しでは、原子炉発電所が有ってみんなが気にして住みたがらないはずの茨城県東海村は売り家が出ると奪い合いになるくらい人気な場所になったらしい その理由は、子育て福祉が何処よりも優れていて特に現に子育てをしている人の中ではとても人気がある場所	本市では、まちづくりにおける最上位の計画である「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン（以下「戦略プラン」といいます。）」に基づき、子育て環境日本一を目指した取り組みを推進しているところです。 「龍ヶ崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）（以下「総合戦略」といいます。）」では、「子育て環境日本一を目指したまちづくり」を基本目標として掲げ、これまでの取り組みによる成果を踏まえ、子育て環境日本一を目指してたまちづくりをより一層推進するなどにより、皆さんから「選ばれるまち」を目指しております。
	2	龍ヶ崎市の改善点 ①保育園に入所しやすいようにする	本市では、保育施設における年度当初の待機児童ゼロを達成しております。また、保育施設の入所に際しては、希望の保育施設への入所や兄弟入所などについて、可能な範囲で調整したいと考えています。なお、総合戦略における5年後の数値目標においても、待機児童ゼロを掲げております。 また、学童保育については、小学校卒業まで対象を拡大した上で、待機児童ゼロを達成しております。
	3	②タツノコ山以外に子供が遊べる場所を増やす	戦略プランの優先プロジェクトとして、「遊びの拠点づくり」事業を位置付け、たつのこやま周辺などで子ども達が安全に楽しく遊べる場を整備してまいりました。たつのこやま（龍ヶ岡公園）には、平成26年度に大型遊具を設置し、休日などは多くの方で賑わっています。 また、本市の都市公園の面積は、人口1人当たりに換算すると県内ではトップクラスであり、これらをより一層活用していただきたいと考えております。

	<p>4 ③子育てに必要な情報をどんどん発信する (実際に分かっていたら活用できる情報があるはずなのに分からないから機会を逃してしまう)</p>	<p>妊娠や出産、子育てに関する情報につきましては、市の広報紙「りゅうほー」や市公式サイト、またメール配信サービスによる子育て情報の配信、「子育てガイドブック」の配布のほか、本年7月より市内在住の妊婦（と家族）及び3歳未満の乳幼児の保護者を対象として、「龍ヶ崎市子育てきずなメール」を配信し、周知を図っているところです。また、本年10月には「子育て支援コンシェルジュ」「子育て支援センターさんさん館」のフェイスブックを開始し、行事予定や日々の出来事など、最新情報を配信しています。 今後とも、積極的な情報発信に努めてまいります。 御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>2</p>	<p>5 今回の総合戦略に関して、パブコメの前に一つ疑問として本来この9月に*「まちづくり基本条例」*が制定され施行されているのだから、その事を踏まえた上での総合戦略になっていなくては整合性が取れないのでは？</p>	<p>まちづくり基本条例は、協働によるまちづくりを推進するための基本的なルールを定めた条例であり、まちづくりの基本理念の下、市民の皆さんに、これまで以上にまちづくりに関心を持っていただくとともに、市においても様々な活動に市民の皆さんが参加しやすい環境を充実させていこうというものです。 総合戦略の策定に際しましては、パブリックコメントによる意見募集の他、市民団体などの参加による有識者会議での意見聴取やコミュニティセンターでの意見交換会などの機会を通して、市民の皆さんの御意見をお伺いし、計画に反映させております。</p>
	<p>6 *1 公共交通機関についてコミュニティバスについて* 市民アンケートで一番に挙げられている公共交通機関の不便さについて。 路線バス、コミュニティバスのルート見直し、ダイヤ見直しが必要と感じる。 特にコミュニティバスは小回りの利く大事な足代わりなはずが、見ると空気を運んでいるばかり。 朝夕一便でいいので佐貫駅西口から東口に向かうコミュニティバスを文化村住宅内を一周するコース（バス停設定）を追加していただくことを期待したい。</p>	<p>コミュニティバスなどの市内公共交通の充実は重要であると考えております。 総合戦略では、市内交通網の充実などにより、JR常磐線佐貫駅へのアクセス性の向上などを図るなど、「都心へ通えるまちづくり」を推進したいと考えております。 また、本市を形成する4つの市街地を核として、周辺地域を含む交通ネットワークを充実させることで、利便性の向上を図りたいと考えております。 御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

7	<p>*関東鉄道竜ヶ崎線について*</p> <p>歴史ある路線ではあるが、ひたちなか海浜鉄道のように多くのファンに支持されるような鉄道であるか疑問。これは行政だけががんばって出来る事ではないが、龍ヶ崎市の誇れる歴史的鉄道としてもっと宣伝活動に力を入れるくらいの事は出来るはず。</p>	<p>関東鉄道竜ヶ崎線の活性化については、戦略プランの主要事業として掲げ、関係事業者との連携のもと取り組んでまいりました。</p> <p>本鉄道は、市内の公共交通機関としての役割のみならず、交流人口増加に向けた地域資源としての役割を担っていると認識しております。御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>*2 メディア発信及び利活用について*</p> <p>現在龍ヶ崎市でFB ページでの情報発信についてどれだけの市民が知っている事なのか？ネット関連に関しては手薄過ぎる。</p> <p>若い世代へのアプローチするなら、今の SNS の使い方では到底支持を得る事は出来ない。</p> <p>行政としていかに SNS を使いこなしていこうとしているのか、そこが市役所 FB ページ見ても一切伝わってこない。</p> <p>情報ダダ流しするだけで一方通行。</p> <p>市民からの声をどのように拾うのか、また行政から積極的なネット活用の意見などが出てこない限り龍ヶ崎市の IT に関する意識はレベルアップできない。</p> <p>*SNS 専任部署を作ることを期待したい。*</p>	<p>様々な地域資源などについて、本市における魅力として戦略的かつ効果的に情報発信し、本市の認知度・イメージの向上を図り、交流人口の増加や流入を促進するシティプロモーション活動について、専任部署を設置し本格化させております。</p> <p>その情報発信の一環として、市公式サイトのほか、フェイスブックやツイッターなどの SNS を活用しているところです。</p> <p>御意見につきましては、これらのツールのより一層の活用及び改善に向けて、参考とさせていただきます。</p>
9	<p>*データ類のオープン化に関して*</p> <p>龍ヶ崎市の持てる公開可能なデータ類に関して、オープン化に関してどのように考えなのか、ぜひとも担当部署に話伺いたい。</p> <p>持てるデータ類に関してオープン化が進めばデータを使った市民サービス、アプリケーション開発など、ベンチャーなどの起業家にアプローチ出来るはず。</p>	<p>国では、「電子行政オープンデータ戦略」を平成 24 年度に策定し、国や地方公共団体が保有する公共データを二次利用可能な形で提供すること（オープンデータ化）により、官民の情報共有が図られ、官民の協働による公共サービスの提供、行政が提供した情報による民間サービスの創出などを目指しています。</p> <p>一部の自治体においては、総務省のオープンデータの実証実験に参画し、取り組みを進めていることなども認識しております。</p> <p>オープンデータ化には、本市の情報公開制度、個人情報保護制度などとの整合を図らなければならないことから、他自治体の状況及びベンダーなどから情報提供を受けながら、今後も研究してまいります。</p> <p>御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>

10	<p>コミュニティラジオについて 龍ヶ崎市は防災無線での情報発信しているが、多くの市民が聞き取れない、聞こえないなど声を寄せているが行政としての対応が進まないのが現状。 先日ニュースで宮城県名取市が希望する市民に防災ラジオを配布すると配信されていた。東北大震災の経験を踏まえ、行政が市民に対して働きかけ始めた。 また隣の牛久市では8月より、牛久市コミュニティFM放送局FMUU（エフエムユーユー）が開局し、開局以来市民の方々の出演があったりと利活用が進んでいる。 独自に鋭いセンスを持った情報発信していかない限り、若い世代、市民活動を積極的にしていく人たちの心に刺さるような街にはなっていないと感じる。</p>	<p>防災無線については、市内全域に向けた情報発信の手段であり、災害時における重要な情報伝達手段のひとつでありますので、できるだけ市民の皆さんが聞き取りやすいよう注意して放送をしているところですが、引き続き、工夫をしております。 また、情報を伝達するためには、複数のツールを活用し、相互に補完することが重要です。そのため、メール配信サービスやツイッター、フェイスブックの活用をはじめ、電話による放送内容の確認サービスなども行っています。 御意見については、今後の参考とさせていただきます。 なお、情報発信については、No.8の前段の回答のとおりでございます。</p>
11	<p>*3 地元での雇用創出について* 先日行方市の「ファーマーズヴィレッジ」に行ってきたが、廃校となった校舎を一般企業が買い取りサツマイモミュージアムや、地場野菜などを使ったレストラン経営など始めて大いに注目されている。 観光施設化するだけでなく、施設を運営する会社の工場を敷地内に作り雇用先としても大いに働く人材が集まっている。 龍ヶ崎市も、長戸小学校跡の利活用が課題になっているが、いつまでも行政が持ち続けるのではなく、民間への売却なども視野に入れてはどうかと、ファーマーズマーケットに行ってみた。</p>	<p>総合戦略にも掲げたとおり、公共施設等の既存ストックについては、マネジメント方針を策定し、効果的・効率的な管理・運営に努めてまいります。 旧長戸小学校の今後の取り扱いについては、現在、地元の方々との意見交換などを続けています。 御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>現在龍ヶ崎市内での雇用の創出は具体策が出てこず、早急に対応しなくては他地域へ人が流出してしまう。</p>	<p>雇用の創出は、総合戦略が目指す地方創生の重要なポイントであり、本市への定住促進・人口流出の抑制を図るうえで重要であると認識しております。戦略プランにおける取り組みを推進するほか、総合戦略では、それらの取り組みをさらに推進してまいります。</p>
13	<p>総務省もテレワークに関して指針を掲載しているが、都心に近く子育てしながらでも仕事ができるよう、龍ヶ崎市としてもテレワーク普及にも力を入れていただきたいと強く要望したい。</p>	<p>雇用の創出に向けては、女性の雇用機会の拡大や情報通信技術の活用などによる多様な就業形態の創出が重要であると認識しております。 御意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>